

第2回金沢版働き方改革検討会議

日 時：平成30年6月25日(月) 16:00～17:30

場 所：金沢市役所 会議室「兼六」

次 第

1 開 会

2 講 演

講 師：長谷川 博和 委員（アドバイザー）

題 目：「働き方改革についての考え方」

3 議 題

(1) 本市を取り巻く雇用・労働環境等について〈資料番号1〉

(2) 意見交換

4 閉 会

【配布資料】

資料番号1 本市を取り巻く雇用・労働環境等について

参考資料1 第1回金沢版働き方改革検討会議 発言要旨

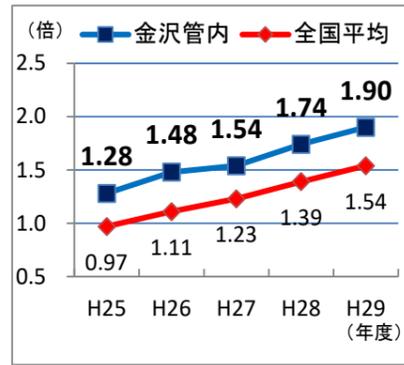
参考資料2 ほくりくのさくらレポート（2018.6.11 発行分）

本市を取り巻く雇用・労働環境等について

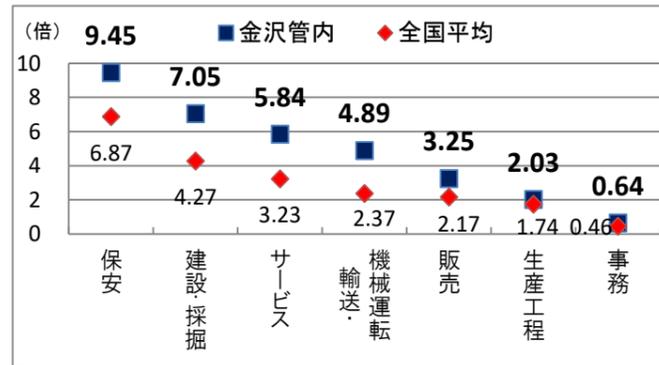
1. 雇用情勢について (金沢公共職業安定所「ハローワーク業務月報、厚生労働省「一般職業紹介状況」より)

3. 労働生産性の向上について (日本銀行金沢支店「ほくりくのさくらレポート」より抜粋)

(1) 有効求人倍率



(2) 職業別有効求人倍率 (平成30年4月分)



※ハローワーク金沢管内 (金沢市、かほく市、内灘町、津幡町) の原数値

2. 労働環境について (総務省「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」より)

(1) 北陸地域の企業が直面する人手不足 (2018.6.11公表)

- 北陸地域は、海外経済の着実な成長を背景に、求人が増加していることに加え、女性や高齢者の就業率が既に高く、追加的な労働参加余力が限られていることから、有効求人倍率が全国で最も高く、人手不足の極めて深刻な地域のひとつ
- 人手不足の中でも着実な経済の成長を実現するためには、労働者数を増やす施策と労働生産性を高める施策の双方が必要
- 北陸地域の域内総生産や就業者数をみると、非製造業が経済に占める割合は7割を超えており、非製造業において労働生産性を向上させていくことが非常に重要

(2) 労働生産性向上に関する企業の取組と課題の克服 (2018.6.11公表)

【企業の取組】

北陸経済が拡大する中、人手不足の状況下においても事業規模の維持・拡大に迫られていることもあり、労働生産性向上に向けた取り組みを積極化させる動きがみられている

傾向として、

- ① IT投資・省力化投資 ②業務プロセスの見直し ③人材育成 の3つの類型に整理できる

【課題の克服】

- 企業の取り組みは多岐にわたっており、一つ一つは小さくみえるが、地道な取り組みが積み重なることで、結果的に大きな労働生産性の向上につながると考えられる
- 費用対効果や、知識・情報の不足など、様々な課題が残されており、これらの克服による今後の労働生産性の向上余地は未だ大きいと考えられる

(3) 総合的な働き方改革 (2018.3.12公表)

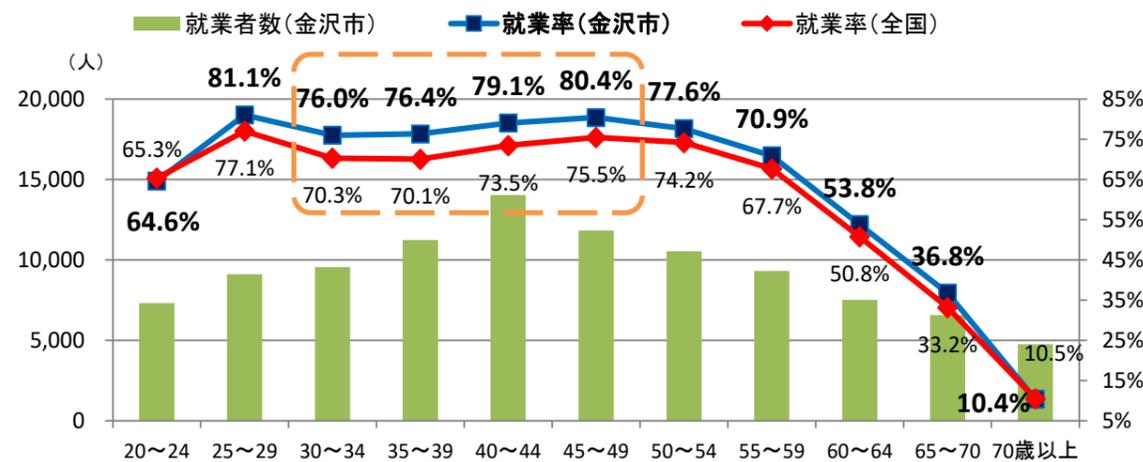
- 労働人口の減少が不可避な中、いかに雇用を確保していくかが企業にとって大きな経営課題になると考えられる
- とりわけ、生産性の向上と職場環境の改善を同時に実現する総合的な働き方改革を行うことが重要
- 売上高・利益の増加及び給与・福利厚生の実現し、優秀な人材の確保を通じて更なる生産性の向上を実現する、という好循環を生み出すかがポイント

(1) 女性の就業状況

① 15歳以上就業率

金沢市	52.4%	石川県	51.8% (全国2位)	全国	48.3%
-----	-------	-----	--------------	----	-------

② 本市年代別就業者数・就業率 (女性)

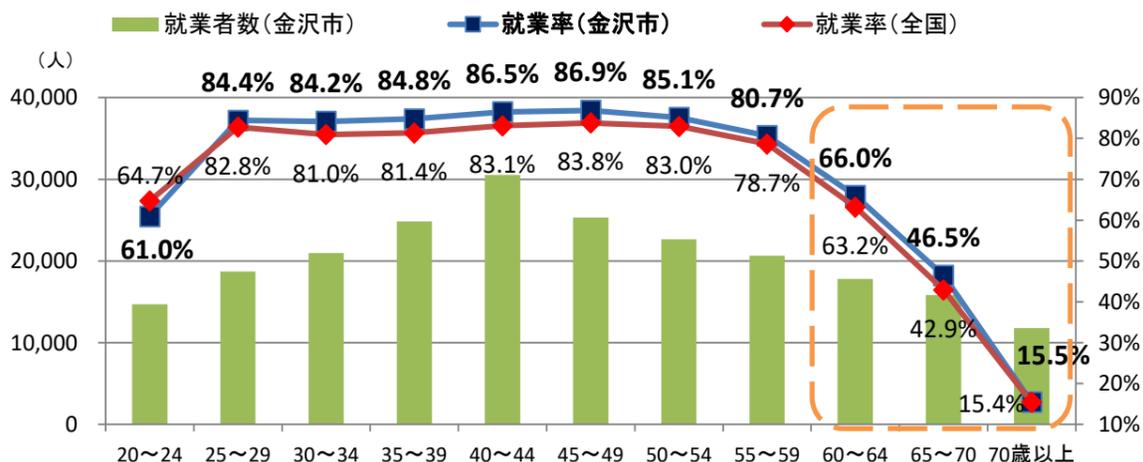


(2) 高齢者の就業状況

① 65歳以上就業率

金沢市	25.0%	石川県	24.9% (全国10位)	全国	23.3%
-----	-------	-----	---------------	----	-------

② 本市年代別就業者数・就業率 (男女計)



【働き方改革に向けて】

